

太陽光発電システム設置費用助成

町では、地球温暖化対策の観点から、環境負担の少ない持続可能なまちづくりを推進するため、太陽光発電システムを導入する方に対して、設置費用の一部を補助します。

■補助対象となる太陽光発電システム

- ・住宅の屋根などへの設置に適した、太陽光エネルギーを電気に変換し、低圧または高圧の配電線と逆潮流有で連携するシステムで、電力会社と電力需要契約を締結するもの
- ・未使用のもの(中古品は対象外)

■補助対象となる方

- ・自ら移住するまたは居住しようとする町内の住宅に太陽光発電システムを設置する方、町内の事業所等に太陽光発電システムを設置する事業者
- ・町税を滞納していない方(申請者と生計を同一にする方を含みます)
- ・以前、同一の種類の機器に対する町の補助金その他これに類するものの交付を受けていない方

■補助金の額

- ・1kW当たり20,000円(個人は最大4kW80,000円、事業所は最大5kW100,000円まで。端数は千円未満切り捨て)

※平成23年度の1kW当たり35,000円から変更となっています。

※別途、国・県の補助制度がございますので、お問い合わせください。

■募集期間 12月28日(金)まで

■募集件数 26件

※先着順。予算の範囲内での受け付けとなりますので、予定額に達した場合は、受け付けを終了します。

■注意事項

- ・補助金交付決定後に太陽光発電システム設置工事に着手していただきます(申請日には、工事未着工であることが条件です)。
- ・平成25年3月10日までに実績報告書を提出していただきます(平成25年3月10日までに事業を終了することが条件です)。
- ・すでに太陽光発電システムを設置した方は、補助金の交付対象とはなりません。

■お問い合わせ・申請先

企画商工課 ☎72-6939

Books

今月のおすすめの本

＊ 一般書



『日本の歴史を作った森』

立松和平／著

ちくまプリマー新書 筑摩書房

この本は、日本古来の木造建築物は豊かな森から与えられた産物です。建材として古くから使われてきた木曾ヒノキに焦点を当てた一冊。江戸時代、焼失した江戸城西の丸再建や、建築の増加で木曾ヒノキは大量伐採されます。乱伐された木曾ヒノキの森が尾張藩の保護政策や大政奉還後の植林で守られるようになったことなど…歴史的観点から「森」を見た内容となっています。

日本の木造文化がどのように発展していったか、今後の森をどうするべきか…考えさせられる本です。

＊ 児童書



『したきりすずめ』

石井桃子／再話 赤羽末吉／画
福音館書店

「すずめや すずめ すずめのおやどは どこじゃいな ちゅんちゅん」子どもの頃に一度は聴いたことのある「したきりすずめ」。この絵本は児童文学の第一人者である石井桃子さんのリズム感あふれる文章に、赤羽末吉さんの美しい絵で作られた傑作です。

「したきりすずめ」は『小野町のむかしばなし』にも載っています。絵本とは少しずつ違うところがあります。読み比べてみてください。

「課題図書」入りました

夏休みに向けて「第58回青少年読書感想文全国コンクール課題図書」および「福島県夏休み推せん図書」が入りました。ぜひご利用ください。

なお夏休み後半は貸出が集中するため、お待ちいただく場合があります。早めのご利用をお願いします。